

1969
2013
2/15

府報の友

発行所/大阪府関係職員労働組合
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59
電話 06(6941)0351・内線3740
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人/橋口 紀塩 編集人/田中 克義
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

2013国民春闘
統一行動批准投票
2月19日(火)まで

新連載

「9条」が危ない

「憲法」が危ない

今こそ憲法をいかに守ろう！

総選挙の結果、「憲法改悪」を狙う政党が国会の3分の2を占めることになりました。それに対して、外国主流メディアも警鐘を鳴らしています。イギリスの「エコノミスト」誌は、「新政権は、過激な国粋主義者たちによる内閣」と述べています。

アジア2千万人の犠牲と、廃墟になった国土——その反省から生まれた日本国憲法を改悪し、再び「戦争ができる国」にするわけにはいきません。

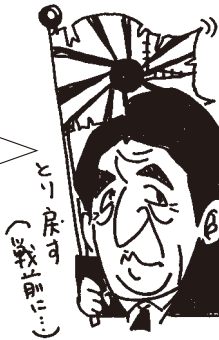
9条改正の前に、憲法改悪のハードルを下げる

自民党は、憲法9条や前文を変えて、自衛隊を国防軍にするともに、海外派兵を自由にして、日本を米軍と一緒に「戦争ができる国」に変えようとしています。

日本国憲法96条は、憲法の改正は、①衆参両院でそれぞれ3分の2以上の賛成で発議、②国民投票での過半数の賛成が必要としています。

自民党は、憲法を変えやすくすることから手をつけようと「96条改正」を狙っています。

「最初に行うことは96条の改正だろう。3分の1を超える国会議員が反対すれば、議論すらできない。あまりにもハードルが高すぎる」
「日本維新の会、みんなの党も96条改正については一致できるのではないか」



「核兵器のシュミレーションぐらいやったらいい」「徴兵制もやったらいい」

ねらいは憲法全体の改悪

安倍・自民党は、原発事故でふるさとに帰れない人がいっばいいるのに「原発再稼働」、消費税を増税し、生活保護削減など社会保障の切り捨てを進めようとしています。これらは日本国憲法の理念とさかさまです。

日本国憲法は光り輝く世界の宝

「戦争放棄」だけでなく、日本国憲法は、世界で主流になった人権の上位19項目を満たす、先進的なすばらしい憲法です。憲法を変えようとはなく、いかに

さらに、天皇を「元首」とし、国旗は日章旗、国歌は君が代と定め、「国民の責務(義務)」条項を設けての基本的人権の制限、道州制導入による統治機構の改変など、憲法全体を改悪しようとしています。

9条を政治・外交にいかして、世界平和に貢献を

日本国憲法は、二度と戦争をしないことを定めた9条をもち、戦後67年間、日本が戦争に参加しない歯止めとなってきました。日本国憲法は「平和のうちに生存する権利」を確認した世界とアジアと歴史への約束です。

憲法前文

日本国民は、(中略)政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。(後略)

憲法9条

1 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

日本の憲法は今でも世界で先進的

世界で主流になった人権上位19項目までをすべて満たしています

世界の憲法にうたわれた権利ランキング (%, 188カ国中)

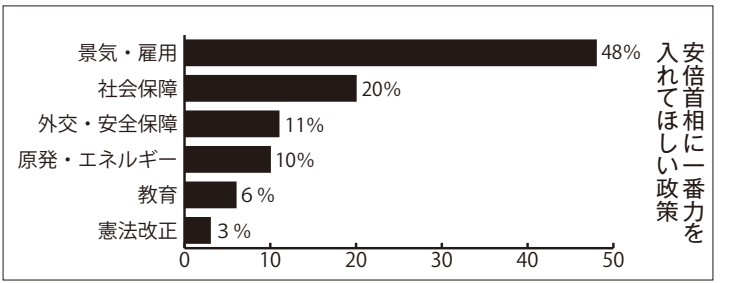
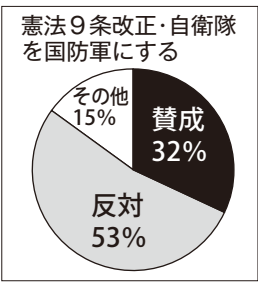
順位	権利の種類	日本	米国	1946年	1976年	2006年
1	信教の自由	○	○	81	88	97
2	報道・表現の自由	○	○	87	86	97
3	平等の保障	○	○	71	88	97
4	私有財産権	○	○	81	83	97
5	プライバシー権	○	○	83	81	95
6	不当逮捕・拘束の禁止	○	○	76	79	94
7	集会の権利	○	○	73	75	94
8	団結権	○	×	72	77	93
9	女性の権利	○	×	35	70	91
10	移動の自由	○	×	50	58	88
11	裁判を受ける権利	○	○	68	62	86
12	拷問の禁止	○	○	37	45	84
13	投票権	○	○	63	69	84
14	労働権	○	×	55	67	82
15	教育の権利	○	×	65	65	82
16	違憲立法審査権	○	×	25	51	82
17	過失(そきゅう)処罰の禁止	○	○	41	60	80
18	身体的権利	○	×	44	57	79
19	生活権	○	○	33	41	79

※「朝日新聞」2012年5月3日

改悪は望んでおらず、景気・雇用対策や社会保障制度の充実を願っていることが明らかになっています。憲法をいかに「誰もが安心して働き、健康で文化的な生活」ができる社会をつくることを求められています。

国民の願いは「9条改悪・国防軍」

朝日新聞社が昨年12月26、27日に実施した全国緊急世論調査では、自民党の主張している「憲法9条改正」、自衛隊を国防軍にする「こと」について、賛成は32%で、反対の53%が上回っています。



遊歩道

市立桜宮高校バスケット部員が体罰を受けた翌日に自死したという痛ましい報道以後、さまざま

な体罰問題が報道され、女子柔道日本代表監督の体罰とパワハラ問題も明らかになった。人は手や足を出すとき、意のままにならない焦りやイライラが必ずある。そういう点でも冷静さを失った理に合わない行為▼橋下市長は「一線を越えた」と言い、桜宮高校体育科の入試を中止させた。市教育委員会の対応は非難される点もあるだろうが「一線を越えた」という言い方で自らの正当性の主張に使うのはどうかと思う▼市長はよく「民間ではあたりまえ」と言うが、パワハラや暴力が常態化した会社もあり、公務職場でも事例は多い。厚労省の専門家チームが具体事例をあげて「パワハラ指針」を出したが、それほど根の深い問題と見える。そういう点で、学校での体罰問題は時間をかけて解決をはかる必要がある▼府や市が実施しようとしている相対評価。100%の仕事ができていても最下位ランクに落とされる。全く理に合わない。パワハラそのものだ。このような理不尽な相対評価は廃止されるのみだ。